

モジャコ情報 (平成30年 4月 調査結果)

調査期間：平成30年4月3～6日

鹿児島県水産技術開発センター

調査船：おおすみ 67t

平成30年4月9日発行

調査海域：南薩，西薩

【海況】・・・“平年並”から“著しく高め”

- ・黒潮北縁域は屋久島御崎の北9.4マイルにある(4月4日現在)。
- ・定期船による観測では，黒潮流域(4月4日現在)で24.2℃(かなり高め)，薩南海域(4月4日現在)で21.0℃(平年並)，西薩海域(4月5日現在)で21.6℃(著しく高め)であった。

※1 平年値は，昭和56年から平成22年までの平均値。

【調査結果】

(1) 流れ藻の分布・・・昨年同期より少ない，平年同期より多い

- ・流れ藻の視認個数は240.8個/10マイルで，昨年同期(1,016.2個/10マイル)より少なかった。また，平年同期(212.7個/10マイル)より多かった。
- ・採集した流れ藻重量は0.5～11.0kg(平均3.7kg)で，昨年同期2.6～13.7kg(平均7.9kg)より小型の藻であった。

(2) モジャコの付着状況・・・昨年同期より多い，平年同期より少ない

- ・流れ藻1kg当たりの付着尾数は10.2尾で，昨年同期(0.5尾)より多かった。また，平年同期(15.6尾)より少なかった。
- ・モジャコ以外の雑魚ではマアジが多かった。

(3) モジャコの大きさ・・・昨年同期より小さい，平年同期より大きい

- ・採捕したモジャコの全長は平均55.4mmで，昨年同期(58.5mm)より小型であった。また，平年同期(51.4mm)より大型であった。

※2 平年とは平成20年から平成29年までの4月の平均値。

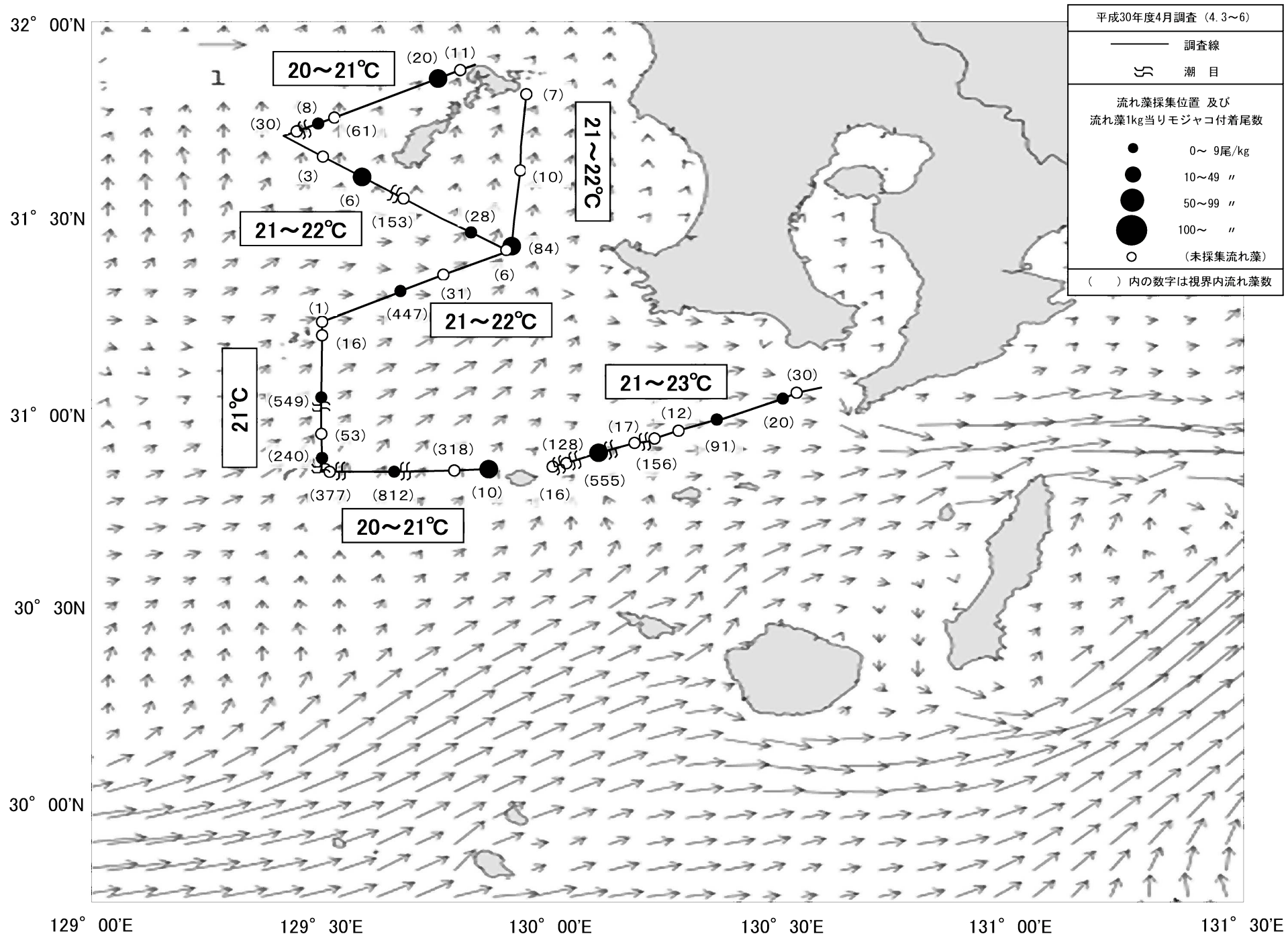
表1 海況及びモジャコの付着状況(4月)

調査項目	海 域	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	過去5年平均	平年値
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	大隅		—	—	64.6	60.3	3.8	42.9	73.0
	種子島		—	—	70.5	263.8		167.2	77.7
	屋久島		2,655.4	602.3	197.2	840.3	244.6	908.0	424.8
	南薩	389.9	493.7	0.3	407.7	417.7	83.0	280.5	244.5
	西薩	48.2	644.7	—	680.4	170.2	—	498.4	210.2
	平均(全海域)	240.8	1,016.2	316.2	284.1	409.8	95.0	424.3	212.7
流れ藻1kg当たりの モジャコ付着尾数	大隅		—	—	3.3	6.0		4.7	4.8
	種子島		—	—	11.0	1.6		6.3	4.5
	屋久島		0.2	25.4	1.2	2.8	3.1	6.5	7.9
	南薩	6.1	0.6	877.3	2.5	3.7	2.0	177.2	99.2
	西薩	18.4	0.8	—	0.9	2.7	—	1.5	3.4
	平均(全海域)	10.2	0.5	103.7	3.0	3.2	2.5	22.6	15.6
モジャコ平均全長(mm)	大隅		—	—	55.2	48.4		51.8	45.8
	種子島		—	—	79.7	57.4		68.6	64.7
	屋久島		49.3	51.1	38.0	45.1	58.9	48.5	49.6
	南薩	41.8	51.8	39.0	41.9	61.0	67.1	52.2	48.6
	西薩	64.3	70.2	—	61.8	87.4	—	73.1	58.7
	平均(全海域)	55.4	58.5	41.7	60.0	59.8	62.3	56.5	51.4
定期船観測による各海 域の4月上旬平均水温 (°C)	黒潮流域		23.0	23.0	23.9	21.7	23.9	23.1	23.2
	薩南海域		19.1	20.4	20.6	19.3	20.6	20.0	20.5
	西薩海域		18.4	20.2	18.7	17.6	18.3	18.7	17.9

※3 空欄は流れ藻を採取できなかった又はモジャコが付着していなかったことによる欠測。

※4 流れ藻視認個数、モジャコ付着尾数及び平均全長の平年値は、平成20年から29年までの平均値。

※5 各海域平均水温の平年値は、昭和56年から平成22年までの平均値。



(海流は、九州大学応用力学研究所発表の平成30年4月5日12:30の海流図(DR_M)による)

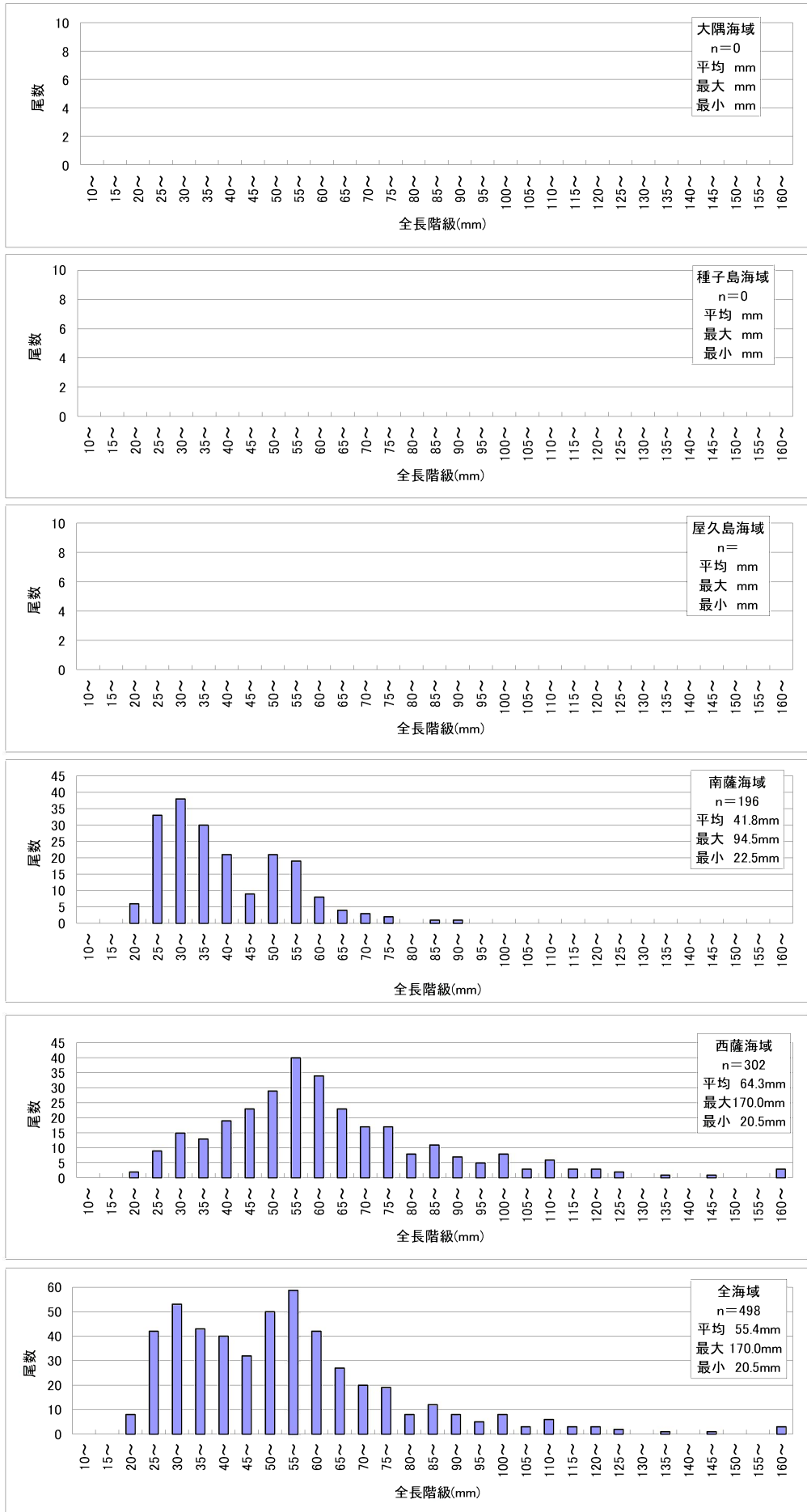


図1 採捕したモジャコの海域別全長組成(平成30年 4月調査)